

令和6年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|----|-----|--------------------------|-----|-------|
| 学校番号 | 24 | 学校名 | 静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆下田分校 | 校長名 | 松本 仁美 |
|------|----|-----|--------------------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 学校教育目標

良さが輝き 未来をひらく

一人一人が確かな学びを積み重ね、仲間や地域とつながりながら、自分の良さを生きる力へと輝かせ、夢や希望をもち、自ら未来をひらく（「開く」「拓く」「啓く」）人を目指す。

(2) 目標具現化の柱

- ア **【安全・安心】** 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切に作る学校
- イ **【専門性】** 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校
- ウ **【連携】** 保護者や地域と連携し、児童生徒の社会参加を目指す学校
- エ **【チーム学校】** 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【安全・安心】 命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切に作る学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|--|---|---|----------------------------|
| ア | 生命の尊さや人とのつながりを大切にし、一人一人の良さを受け入れ、互いを思いやる心の醸成 | ・児童生徒の命を第一に考え、一人一人の気持ち、願いを受け止める支援の充実 | ・各学部の経営計画に基づき、児童生徒の命が守られていると答える教職員や保護者（AB100%） | 各学部 |
| | | ・人権感覚を高め、風通しのよい雰囲気づくりといじめや教職員の不祥事を見逃さない体制づくり | ・信頼できる教職員に向けて、自身の行動を振り返ることができた教職員（AB100%） | 学習指導課 各学部 企画会 |
| ア | 命のつながりを実感する食育の推進 | ・季節感があり、健康で丈夫な体をつくる食材の選定と給食献立の策定、及び給食センターと連携した給食の提供 | ・給食センターと連携し、安全な給食提供ができたと答える教職員及び保護者（AB100%） | 各学部 健康課 |
| | | ・地域の産物や生産者、食材の特長と栄養等6つの食育の視点を意識した食育の実践 | ・食と各教科等の関連を意識した指導をした教職員（AB100%） | 各学部 健康課 |
| ア | 児童生徒の命を守る安全教育の充実 | ・実効性の高い訓練方法を探るとともに、緊急時において、主体的に行動できる実践力の育成 ・ヒヤリハットの迅速な報告と共有及び今後にかす取組 | ・緊急時の対応や防犯防災訓練をとおして、児童生徒の安全を守る行動を身につけた教職員（AB100%） | 防災課 健康課 学習指導課 各学部 |

【専門性】 確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|-------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| イ | 主体的・協働的・深い学びによって、資質・能力を | ・一人1授業研による学び合う校内研修の工夫と、授業力の向上 | ・児童生徒の学びを見取り、適切な目標設定と評価ができた教員（AB100%） | 研修課 教務課 各学部 |

様式第1号

| | | | | |
|---|---------------|--|--|---------------------|
| | 育成する授業実践 | ・個別の指導計画に基づく障害の特性を踏まえた国語・算数数学の授業実践及び授業改善 | ・ラーニングマップの活用による授業づくりを行い、実践後に授業改善を進めた教員 (AB100%) | 研修課 各学部 |
| イ | 特別支援教育の専門性の向上 | ・児童生徒の実態や障害特性に応じた指導のための校内研修の充実 | ・障害の特性に応じた支援や学習指導要領に基づく研修ができた教員 (AB100%) | 自立活動課 研修課 各学部 |
| | | ・PCやタブレット活用による主体的学びの推進 | ・PCやタブレットの活用により、授業準備の効率化や学習の定着に効果を得た教員 (AB100%) | 学習指導課 各学部 |

【連携】 保護者や地域と連携し、児童生徒の社会参加を目指す学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|---|--|--|--------------|
| ウ | キャリア教育の視点で小中学部、高等部のつながりと、児童生徒の願いや夢を大切にした進路指導の充実 | ・個別の教育支援計画を基に、児童生徒の実態と将来を見据えた指導の充実 | ・小中の系統性や将来を意識して指導できた教員 (AB100%) | 各学部 自立活動課 |
| | | ・児童生徒の願いや夢を叶えるための地域社会の幅広い情報や、進路情報の提供の充実 | ・児童生徒に応じた適切な情報提供や、進路指導ができたと答える教員及び保護者 (AB100%) | 各学部 |
| ウ | 保護者や地域住民との協働を推進し、地域と共に歩む学校づくり | ・児童生徒及び教職員が地域で活躍し、地域に貢献できる方法を探り、積極的に推進できる体制づくり | ・各学部において、適切な交流を計画し、地域に貢献できたと感じる教職員 (AB100%) | 各学部 |
| | | ・児童生徒や教職員と地域住民が、積極的に関わる協働の学びの推進 | ・地域を活用した学習活動をとおして、児童生徒が意欲的に学んだと感じる教職員及び保護者 (AB100%) | 各学部 |

【チーム学校】 教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|------------------------------------|---|--|--------------------------|
| エ | 特別支援学校のセンター的機能の充実及び関係機関との連携の強化 | ・支援要請に対し、迅速且つ適切な相談と継続した支援の実施 | ・センター的機能による成果の整理及び検証（毎学期） | コーディネーター |
| | | ・外部関係諸機関との連携と、迅速で丁寧につながる支援体制づくり | ・学校内外の情報共有と、支援会議やケース会議等での案件の整理及び成果の検証（毎学期） | 各学部 企画会 コーディネーター |
| エ | 教職員一人一人が責任をもった業務遂行と、やりがいを感じる働き方の推進 | ・教職員一人一人の業務に責任をもち、学校経営参画への意識向上 | ・キャリアステージと自己目標シートに基づき、経自身の役割を理解して営に携わった教職員 (AB100%) | 企画会 各学部 各分掌 |
| | | ・学部及び分掌、事務部の業務内容の精選と、教職員一人一人のタイムマネジメント等働き方の意識改革 | ・計画的な業務遂行のために努力し、働き方を改善できた教職員 (AB100%) | 企画会 各学部 各分掌 事務部 |

様式第1号